

第1章 イベント基本方針

1-2 イベントコンセプト

For Our Future
九州・山口の未来のために

我々の未来は我々自身の手で創り出す。持続可能な取組みとして、我々自身が支え、地域に支えられ、地元の人達が参画出来て、みんなで盛り上げて、みんなが元気になれるイベントとする。

1-3 行動指針

- ①九州・山口の魅力発信 ②サイクルスポーツの普及拡大 ③イベント経済効果の最大化と地方活性化への貢献
④持続可能なイベント取組み ⑤自転車活用推進計画との連携

第2章 イベント概要

2-1 全体構成

国際スポーツ大会であるUCI(*)認定サイクルレースと、九州・山口サイクリング周遊型商品を同時期に展開する、総合型サイクルイベントとする。
*UCI=United Cycle International/国際自転車競技連合

ツール・ド・九州

ツール・ド・九州		
名称	ツール・ド・九州2023	ディスカバー九州
形態	UCI認定の国際サイクルレース	サイクリング周遊型旅行商品
参加者	160名(招聘選手・スタッフ)	100名～200名(諸手配状況に応じて可変)
目的と役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 核イベントの位置づけ ● 観客動員による経済波及効果 ● サイクルスポーツ人口の底上げ ● スポーツツーリズムの推進 ● 対欧米マーケットへの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域連携の独自型サイクルルート確立 ● サイクリングインフラの整備促進 ● ナショナル・サイクルルート認定 ● 観光「コト消費」促進の為にコンテンツ作り ● 国内外のレジャーサイクリストへの情報発信
実施主体	「ツール・ド・九州2023」実行委員会	「ディスカバー九州」推進委員会
参画行政	特定の行政(県)*自主的な参画	九州、山口9県の行政(県)

2-3 サイクルレース大会概要(案)

- 大会名称:(*)ツール・ド・九州2023/Tour de Kyushu2023
- 主催:ツール・ド・九州2023実行委員会
- 競技運営主管:(公財)日本自転車競技連盟(JCF)

*「ツール・ド・九州」の名称・商標については、商標権登録協議・手続き中

- 開催時期:2023年10月(4日間)
- 開催候補地:福岡県、熊本県、大分県
- レース形式:転戦型ステージレース
- UCI認定クラス:クラス2-1
- 参加チーム:計18チーム想定

レースルート(候補)

【福岡ステージ】*変更になる場合有り

総走行距離:約190km 登り獲得標高:約3,500m

県内を縦断する本格的なラインレース

競輪発祥の地である北九州市を出発し、九州北部豪雨(2017年7月)以来4年連続の災害により被災した地域を繋ぎながら、県内を縦断する本格的なラインレースコース。

+

エキシビジョンレース

【クリテリウム/タイムトライアル】
■北九州市内での周回レース

【熊本ステージ】*変更になる場合有り

総走行距離:約170km 登り獲得標高:約3,400m

南小国町⇒南阿蘇村+周回

阿蘇を北から南に一気に駆け抜け、南阿蘇エリアに入り最後は特定ルートを周回してフィニッシュするラインレース+周回の混合型。途中、阿蘇の五岳が一望出来て、景観が素晴らしい九州の大自然を象徴するルート。

【大分ステージ】*変更になる場合有り

総走行距離:約130km 登り獲得標高:0m

日田オートポリス+周辺ロード

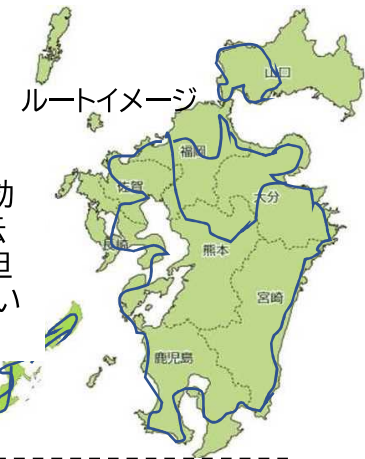
数々のサーキットレースの舞台となってきたオートポリスを核に、周辺ロードとのコンビネーションで周回する。2007年に開催の第42回全国都道府県対抗自転車競技大会で実使用した、スプリント勝負が期待出来る本格的なサーキットコース。

【開催スケジュール(案)】

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
合同レセプション	クリテリウム/北九州	福岡ステージ/ロードレース	熊本ステージ/ロードレース	大分ステージ/ロードレース、表彰式
福岡	福岡	福岡	熊本	大分

2-4 「ディスカバー九州」サイクリング周遊型旅行商品概要

●実施主体:「ディスカバー九州」推進委員会 ●募集人員:100名~200名 ●旅行時期:2023年10月



【ディスカバー九州コース設定(イメージ)】

九州・沖縄・山口制覇コース

九州一周コース

九州半周コース(東周り/西周り)

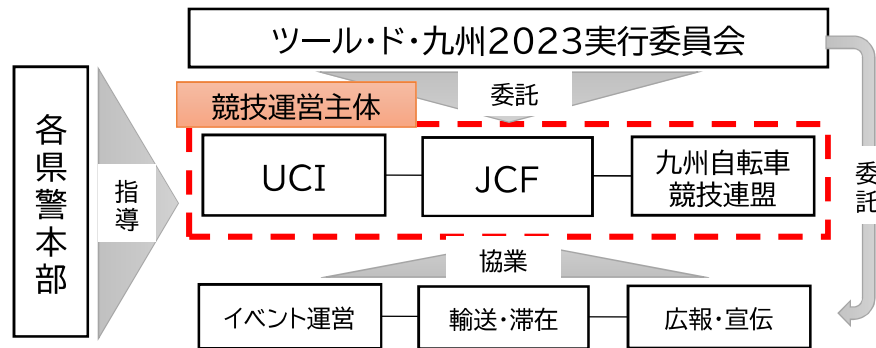
九州横断コース

★広告・宣伝費について

より効果的な商品告知で販売数を伸ばし、観光宣伝効果を最大化し、地域の気運醸成を図る為に、広告宣伝費は全県で按分負担するものとする(実施内容や負担割合については「ディスカバー九州」推進委員会において検討、決定する)。

第3章 国際レース機能

3-1 競技運営体制 *JCF=日本自転車競技連盟



「3-2警備」、「3-3宿泊」、「3-4輸送」、「3-5大会関連車両」、「3-6ドーピングコントロール」、「3-7[救護体制]」、「3-8参加チームのトータルケア」、「3-9ボランティア」、「3-10レセプション・表彰式」

国際レース機能の中の上記項目については、それぞれ基本方針を定め、その方針に基づいた手配、操配を行なうものとする。

第4章 共通機能

4-1 広報・宣伝 4-2 放送・映像

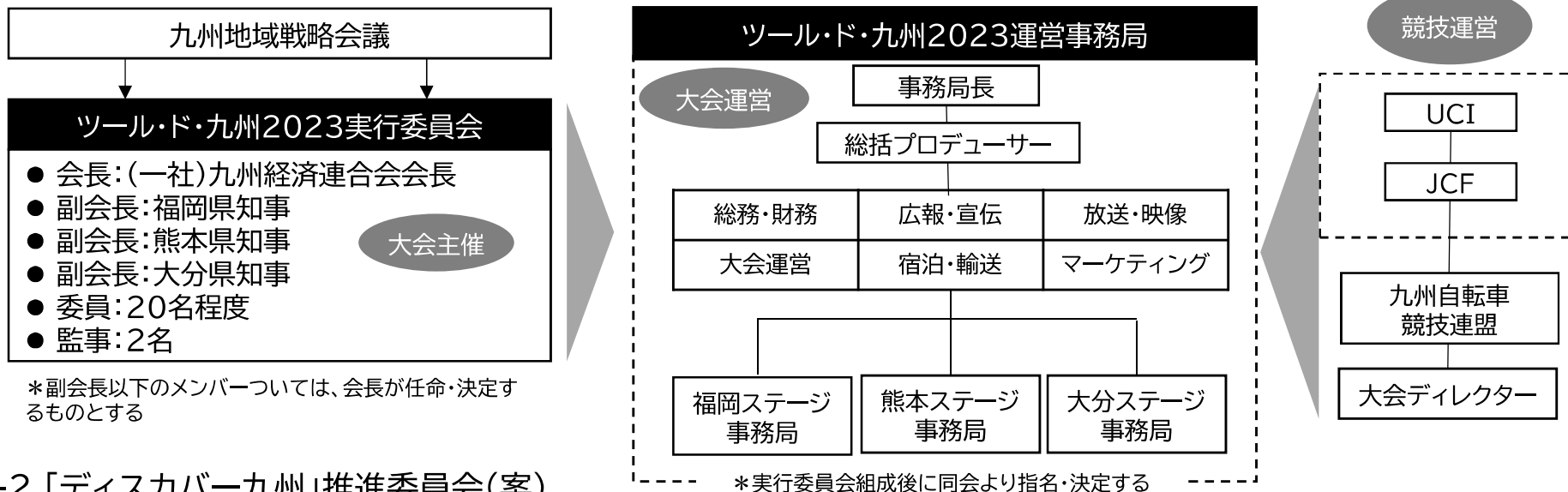
*それぞれの基本方針より抜粋

- 九州・山口の魅力が全国、並びに世界に十分発信出来る広報・宣伝活動を行なう。
- 情報発信については、親和性の高い国内外のデジタルメディアを活用した広報・宣伝活動を行なう。
- 初期の事業予算化の段階で必要な広報・宣伝費を確保する。
- 認知度向上、気運醸成の為に九州域内でテレビ地上波放映を行なう。
- 「ツール・ド・九州2023」の映像については、実施時点でのITテクノロジーを活用する。

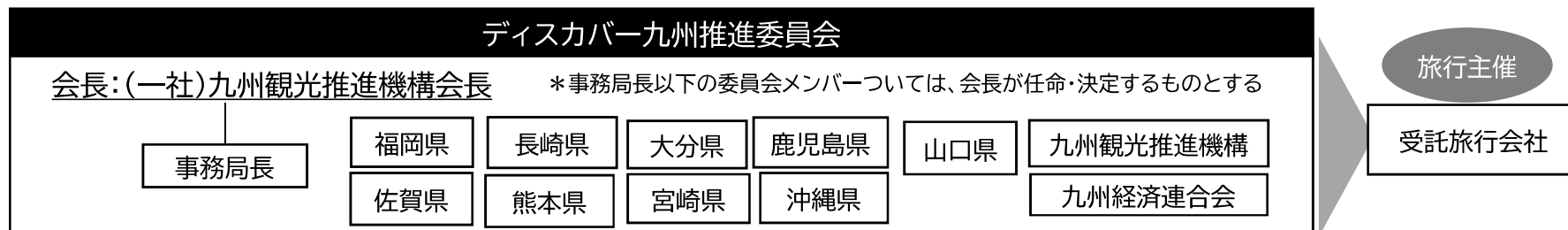
主たる広報・宣伝のチャンネル(抜粋)	
UCIカレンダー	UCIカレンダー掲載で世界に告知
テレビ	イベント+事前の番組放映
専門ネット媒体	サイクル専門ネット媒体での告知
インフルエンサー	影響力の大きい最適なインフルエンサー
SNS	イベント公式SNSでの情報発信
イベント①	ファンゾーンの設置(大会時)
イベント②	サイクル総合型イベント実施(大会時)

第5章 推進体制

5-1 「ツール・ド・九州2023」実行委員会・運営事務局(案)



5-2 「ディスカバー九州」推進委員会(案)



5-3 スケジュール(抜粋)

